

27年3月分

パソコンを使えない社長は生きた化石か (社長の仕事とは何か)

私はパソコンを持っていません。使えないからです。携帯電話は持っていますがいつも鞆の中です。常にマナーモードにしているので必要な時だけ見ます。メールは見返りが見られません。家には持って帰りません。それでも不便を感じることはほとんどありません。社員は困るでしようと言われますが本当に困ったことはほとんどありません。電車の中や新幹線の中で仕事をしている人をよく見かけますが、いつも仕事熱心な人達だと感心しています。私は新幹線は自由席と決めています。目的地まで同じ時間に行くのに何で高い指定席やグリーン車に乗るのかお金がもたないからです。自由席ならすぐ買えるし、10分前に行けば必ず自分が好きな席に座れます。社員と一緒に出張しても隣には座りません。新幹線の中では駅弁を食べてゆつくり寝たいからです。社員が横にいと安心して寝れません。

パソコンが使えなくても携帯電話が使えなくても会社は創業以来増収、34年連続3億円を超える経常利益を出し続けています。東京都より2011年にワークライフバランス企業として表彰され、2014年に障がい者雇用優良企業、厚生労働省より今年「精神障がい者雇用優良企業」の認定、経済産業省よりは2014年おもてなし企業30選、今年「頑張る中小企業200選」に選ばれました。また「IT企業100選」も最終審査に残っています。社長がIT音痴でも社員が使えればおかげです。ITツールと安定成長を目指しているのではよと思われ

○社長の仕事は、社員を幸せにすることです。利益を出し、社員の給与を高くすることです。我社の社員は一般的企業の平均より1.3倍は働き、1.5倍の給与をもらっています。今後の課題は、労働時間の短縮です。今年中には全社員がいくと遅くてもPM8:00時に帰る会社になります。社員の人間性も高めるために挨拶・掃除等の環境整備にも力を入れています。その結果がさまざまな賞の受賞につながっています。特に障がい者雇用は社員が支え合い、心根のやさしい集団と社風でないとできません。私達は重度の知的障がい者も精神障がい者も一般社員と同じフロアで机を並べて仕事をしています。

○社長の仕事は、経営計画書を作り、経営方針を社員に実施させて成果を出すことです。社長が経営戦略で商品・サービスの方向性と優先順位を決め、全社員で戦略を実行します。私は経営計画書の作成のため11月の土曜・日曜と12月の第2週目の土・日 ~~は~~ は休みません。1ヶ月以上かけて考えを考えて作ります。経営とは未来をつくることですが、社員の未来像と事業の未来像が大事です。経営計画書として文書で書いてあるので経営者の思い、考え方を正しく伝えることができます。だから全社員が同じ価値感を共有して一致団結して仕事をするので、数字の成果が伸びる。社員のモチベーションも上がり、会社が好きになります。

○社長の仕事は、後継者を指名し、育てることです。自分が今いなくなっても会社が同じ業績を維持できるように準備することです。後継者が息子か娘なら30代、社員なら40代に社長にすぎません。子供なら実績がなくとも社員は納得しますが、社員なら実績と実力、人格の高い者でないと納得しません。そのために自分が早ければ55歳、遅くとも65歳までに次の後継者を指名し、育てなければなりません。社員が安心して働ける会社にするためには、社長は上記の3つの仕事を最低限できればよいのではなからい(は)がパソコンと携帯電話を使いこなせたほうがいいのですが、社長の仕事の本質ではありません。